

いつ起こるかわからない地震…

“今” 備える！



参加費無料

手話通訳あり

お申込みは
11月17日(火)まで

地震に

場所：りんどう会館 3階 大会議室

対象：関心のある方ならどなたでも（※1日限りの参加も歓迎です）

定員：①②30名 ③25名※定員を超えた場合は抽選とさせていただきます。

①11月24日(火) 13:30～15:30

『首都直下地震への備え』

講師：防災塾・だるま 田中栄治 氏

『災害ボランティアセンターの動き』

講師：松田町社会福祉協議会 小嶋利和 氏



②11月30日(月) 13:30～16:30

『災害ボランティアセンター 運営訓練』

講師：災害ボランティアチーム DARST

③12月1日(火) 13:30～15:30

『災害時高齢者生活支援講習・救急法』

～身近にある物を使った応急手当～

講師：日本赤十字社 指導員 東江文香 氏

備える

チラシの裏面にも…

注目!

① 講師の方々をご紹介します！

② 災害や防災についての耳より情報！



お問合せ・お申込みは…

南足柄市社会福祉協議会ボランティアセンター



0465-72-2299

FAX 74-3276

ホームページお問合せへ



〒250-0105 関本 403-2 りんどう会館 1階

平日 8時30分～17時15分、土・日・祝日休み

【講師ご紹介】

災害研修『地震に備える』の講師陣をご紹介します。

それぞれの分野で活躍され、いろいろな視点から地震について一緒に考えます。

① 11/24 田中 栄治氏

小田原市にお住まい。酒匂川に近く、なおかつ海岸に近いので防災・減災について日頃から意識して生活されています。現在、下記の団体等に所属して防災の啓蒙活動をされており、防災リーダー育成や地域の皆さんへ防災の出前講座を実施していただいています。

【所属団体】

- ◆防災塾・だるま ◆SL 災害ボランティアネットワーク
- ◆小田原の防災を考える会 ◆富士・酒匂減災会
- ◆防災教育普及協会

① 11/24 小嶋 利和氏

松田町社会福祉協議会に勤務。

東日本大震災の際は釜石市災害ボランティアセンターの運営に携わり、様々なところで活動報告もされています。その他、静岡県小山町の災害ボランティアセンターにも派遣されています。



② 11/30 災害ボランティアチーム DARST

災害ボランティアチーム DARST は様々な技術や資格、知識を持ったメンバー(消防官・応急救護士・調理師・介護士・研究員 等)が所属しています。

様々なニーズのある被災地で少しでもそのニーズに応えるべく、プロフェッショナルボランティアチームを構成しています。

③ 12/1 東江 文香氏

秦野市にお住まい。長年、日本赤十字社の活動に参加。救急法・幼児安全法・健康生活支援講習等の指導員を務められています。東日本大震災等の被災地では日赤ボランティアとして活動され、当協議会の出前講座『災害時高齢者生活支援講習』は人気のメニューです。自助だけでなく地域の共助力の大切さを伝えてくださっています。



研修に参加いただけなかった皆さまへ 研修ふりかえり上映会

12月8日(火)

9:30~11:30 第1回 11/24 の内容

※人数が多かった場合は

13:30~15:30 第3回 12/1 の内容

上映日の増回を検討します

ミニ 災ボラ通信

~いつ起こるかわからない地震に "今" 備える~



◆発行にあたって

災害に関する研修を開催するにあたり、テーマに関連した耳より情報を今後チラシの裏面に掲載していきます！今回は『平時から備えましょう第2弾』と題し、地震に備えて注意すべきポイントや緊急地震速報について取り上げました。ぜひ、ご一読ください！

◆自宅内の安全確認 (首相官邸・気象庁 HP より抜粋)

大きな地震発生時、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしました。

「家具は必ず倒れる」と考えて、転倒防止対策をして“安全スペース”を作っておきましょう。

☑注意のポイント

☐家具は壁に固定



☐寝室や子ども部屋にはできるだけ家具を置かない

※置く場合は背の低い家具にし、出入口を塞がないよう、配置を工夫する。

☐手の届くところに懐中電灯やホイッスル、厚手の手袋や底の厚い履物を備えておく

☐逃げる際の通路を確保し、物を置かない



平時から備えましょう



◆緊急地震速報とは

最大震度5弱以上を予測した時に、震度4以上を予測した地域に対して緊急地震速報(警報)を発表します。情報はテレビやラジオ、携帯電話やスマートフォン、防災行政無線などがあります。慌てず、周囲の状況に応じて、まず身の安全を確保しましょう。

☑家庭では

☐頭を保護して机の下など安全な場所に避難

*机の脚をしっかりと持つ

☐慌てて外に飛び出さない

☐無理に火を消そうとしない

☑屋外では

☐ブロック塀の倒壊に注意

☐看板や割れたガラスの落下に注意